

Japan Coast Guard Journal [海上保安庁情報誌]

かいほジャーナル

【特集】来島海峡の
交通の安全を守る

vol. 56
2013 autumn



愛します! 守ります! 日本の海

海上保安庁
JAPAN COAST GUARD

CONTENTS

Vol.56

Japan Coast Guard Journal

グラビア

海上保安庁長官交代.....	1
太田昭宏国土交通大臣による第十一管区海上保安本部職員激励....	1
5月12日「海上保安の日」.....	2
第3回アジア海上保安初級幹部研修開講.....	2
海上保安庁音楽隊サマーコンサート.....	3
安倍内閣総理大臣による石垣海上保安部等職員激励.....	3

【特集】

来島海峡の 交通の安全を守る 4

- 来島海峡海上交通センター
- 巡視艇「せとぎり」
- 今治海上保安部

トピックス

管区バージョン・ご当地バージョン 「うみまる」 & 「うーみん」の紹介	10
海上保安庁音楽隊第20回定期演奏会のお知らせ	11

NEWS FLASH 12

INFORMATION 裏表紙

大切な命！自分で守る ～海上保安庁からのお願い～



巡視艇「せとぎり」



来島海峡大橋



愛媛県 今治のPRキャラクター パリィさん



海上保安庁長官交代



北村前長官

佐藤新長官

8月1日、北村隆志前海上保安庁長官が退任し、佐藤雄二新海上保安庁長官が就任しました。

霞が関の海上保安庁では長官交代式が行われ、北村前長官から佐藤新長官へ庁旗

が引き継がれ、前長官、新長官それぞれが職員に対して挨拶を行いました。

交代式終了後、職員らは盛大な拍手で北村前長官を見送りました。



太田昭宏国土交通大臣による第十一管区海上保安本部職員激励



5月11日、太田昭宏国土交通大臣が第十一管区海上保安本部を視察されました。

太田国土交通大臣は、巡視船「りゅうきゅ

う」の船内において、第十一管区の業務説明を受けられた後、船内設備や訓練状況を視察され、職員を激励されました。



5月12日「海上保安の日」



今年は5月12日が日曜日であったため、翌13日に「海上保安の日」に関連する行事を行いました。

午前には、海上保安庁海洋情報部敷地内の慰霊碑前において殉職者追悼式を行い、北村隆志海上保安庁長官をはじめとする海

上保安庁幹部は、殉職者のご遺族とともに、黙祷、献花により179柱の功績を称え、冥福を祈りました。

夕刻には、太田昭宏国土交通大臣をはじめ関係機関の方々にも多数出席していただき、海上保安の日祝賀会を開催しました。



第3回アジア海上保安初級幹部研修開講



5月22日、アジア海域の安全確保、環境保全のための海上保安能力向上プログラムである「第3回アジア海上保安初級幹部研修」が開講しました。

今年度は、インドネシア、マレーシア、フィリ

ピン、ベトナムからそれぞれ1名の研修生のほか、海上保安庁から2名が参加し、平成26年2月24日までの研修や見学を通じて、知識の向上、相互の理解と関係の構築が図られます。



海上保安庁音楽隊 サマーコンサート



7月10日、今年で8回目を迎えた海上保安庁音楽隊サマーコンサートを日比谷公園小音楽堂で行い、「Let's Swing!!」、「シンコペイテッド・クロック」、「あの日聞いた歌」など

様々なジャンルの6曲を演奏しました。

曲間には、海難防止や学生募集についての呼びかけも行い、たくさんのお客様にお楽しみいただいた演奏会となりました。



安倍内閣総理大臣による 石垣海上保安部等 職員激励



7月17日、現職の内閣総理大臣として沖縄の本土復帰後初めて石垣島を訪問された安倍内閣総理大臣は、巡視船「いしがき」を視察された後、石垣海上保安部等職員に対し、『領海警備をめぐる環境が一層と厳しさを増

すなか、諸君らが尽力されていることを高く評価し、内閣総理大臣として深く敬意を表すとともに、今後の活躍に期待する』と激励されました。

来島海峡の

交通の安全を守る



愛媛県今治市、造船やタオルの生産などで知られているこの町は瀬戸内海の海上交通の要衝として古くから海運業が発達、海とともに発展がもたらされてきた。そこには、日本三大強潮流の一つにあげられる来島（くしま）海峡が存在する。

世界で唯一の「順中逆西」という特殊な航法をとっている、来島海峡航路。その海上交通安全の業務を担う、来島海峡海上交通センター（以下、来島マーチス）へ今治海上保安部及び巡視艇「せとぎり」を取材した。

取材文／石川雅幸（エッセイスト）



来島海峡における航法 順中逆西航法



北流時には『右側航行』
通常の航法と同じです



南流時には『左側航行』
通常の航法とは異なります

来島海峡の特徴

瀬戸内海の大島と今治を結ぶ来島海峡大橋からは、大小の島々が点在する自然豊かな景色が一望できるが、この島々によって航路が屈曲している。

来島海峡には、海上交通安全法第2条に基づいて定められている来島海峡航路があり、長さ50m以上の船舶は航路内を航行するように義務付けられている。航路の水道部は、馬島を挟んで西水道、中水道の二つに分かれており、水道部の最小可航幅は約400mと非常に狭い。中水道においては、渦潮・湧昇流が発生するほどの急潮流となり最大10ノットに達することもある。1日の通航量約500隻、夜間の通航量が多い来島海峡は、春から夏にかけて濃霧が発生し、時には視程50m以下になる時があるという。

世界で唯一の順中逆西航法とは

来島海峡航路は、引き潮時は「北流」で燧灘（ひうちなだ）から安芸灘の方へ、満ち潮時は「南流」で安芸灘から燧灘へ潮が流れる。

通常、船舶が航路を航行する時は右側航行となるが、来島海峡航路では「潮の流れに乗っている順潮時は中水道を、潮の流れに逆らう逆潮時は西水道を航行する」世界で唯一の航法をとっている。これは、順潮の場合は舵の効きが悪くなり操船が難しくなることから、屈曲が小さく水道の長さが短い中水道を通るようにしたためで、逆潮の場合は潮流に逆らって航行することで舵効きが良くなることから、大きく屈曲した西水道を通るようにしたためだ。

来島海峡 海上交通センター



今治市湊町、しまなみ海道入口近くにそびえ立つ来島マーチス。海拔55m、塔の高さ55m、震度7クラスの地震にも耐える耐震・免震設計で海上交通に関する情報提供、交通整理を行っている。

平成10年1月1日に業務を開始。巨大船等の航行管制、安全情報の提供、航法遵守のための勧告等を実施し、レーダーや潮流信号所の運用・保守も行ってきている。修行(しゅぎょう)所長をはじめとする62名の職員が来島海峡の船舶交通の安全確保に努めている。

チームワークが整った3つの業務

来島マーチスの業務は、航行管制業務、情報提供業務、整備保守業務に大別される。

航行管制業務を行う運用室では、運用管制官と航行中の船舶とのやり取りが無線を通して飛び交っていた。航行管制とは、来島海峡航路に大型船が同時に入航することがないよう、入航時刻の調整を行うことである。

運用管制官が見ている画面には、船舶の運航状況がリアルタイムで表示され、これらの状況を監視しながら各船舶に的確な情報提供を実施していく。

平成22年7月から施行された改正海上交通安全法により、航路中央部馬島周辺区間の追越し禁止、逆潮流の速度を超えて4ノット以上の速度の維持、転流時の航路通報をルール化した。また、新たに航路外待機の指示及び転流時の航法指示の事務が追加されたため、運用管制官には、高度な状況判断、適確な情報提供が求められる。

各船舶からは無線通信、電話、FAX、NACCS、書面などにより来島マーチスへ航路通報が行われる。巨大船などの航路通報対象船舶は航路入航予定日の前日正午までに航路入航予定時刻などの通報が必要となる。しかし、前港での荷役、気象海象の影響により、入航予定時刻の変更も多く、管制計画を立てるの



来島海峡海上交通センター

も容易な業務ではない。

運用管制官の野村征彦さんに話を伺った。「運用管制官として意識している事は、常日頃からの伝達方法です。特に外国船との英語による伝達は苦勞しながら行っています。」外国船を含むVHFによる情報提供は、決して容易なものではない。業務の中で得る経験を蓄積し、冷静に判断し、ヒアリング能力を高め、情報提供の工夫を行っているという。初任の頃は、オーディオプレーヤーで自分の声を聞きながら発音チェックをするなど伝達方法の復習に余念がなかったという。「順中逆西という特殊な航法。潮の流れが変わる転流時と通航数数のピークを迎える夜間22時から深夜2時が一番気を使います。夜間はトイレにもなかなか行けません。」

例えば、画面を見てみると、予想もしないところから船が出てきて航路を横切ろうとし、避けきれずに接触



レーダー画面をチェックする運用管制官

する事故に発展する可能性がある。事故を未然に防止するための情報提供を行うが、このような船は大抵応答をしない。このような場合には、航路しよう戒船に連絡を取り、現場へ駆けつけてもらうのだ。海上交通の安全確保は、来島マーチスと後述する今治海上保安部に所属する巡視艇『せとぎり』をはじめとした航路しよう戒船との連携が重要だ。

平成23年5月にはじまった国際標準に則った運用管制官の資格認定制度により、研修体制が確立された。一方、その資格がなければ業務ができなくなったため運用管制官による情報提供の重要性が非常に高まったと野村さんは実感しているという。

「運用管制官は、国際標準に則った非常にやりがいのある仕事ですので、ぜひ目指してほしい。」



運用管制官 野村征彦さん

情報提供業務は運用管制官との連携を大切に

運用管制官の無線通信が飛び交う隣

のフロアで、他の情報を提供しているのが情報課の土屋篤史さんである。「運用管制課の補助的な立場で、緑の力持ちとして役に立ちたい。」4月から来島マーチスの情報課に赴任した土屋さんのフレッシュな気持ちが届わってきた。



真剣な眼差しで発信される情報をチェックする土屋さん

来島海峡航路を通航する船舶に対して気象海象、潮流、操業漁船、工事作業状況等の各種情報を、ラジオ放送・ホームページやテレホンサービスで提供するのが情報課の業務である。ホームページの更新も自ら手掛けている。

15分ごとに更新されるラジオ放送は、日本語と英語が交互に放送されている。順中逆西の特殊な航法を持つ航路の情報提供するために、事前の確認作業は欠かせない。「チームワークがとて大切で、情報提供に相違がないようにダブルチェックは怠らな

い。」と語る。

赴任後、一番戸惑った事は英語だという。普段はコンピュータ音声による英語で情報発信するが、緊急時は肉声での対応が必要となる。ただでさえ、複雑な航路なのに、海事用語が含まれる独特の言葉に戸惑いは多く、余暇時間に行う英語の復習は今でも欠かせない。

「私達が発信する情報を有効に活用し、安全に航行してほしい。」

来島海峡の交通安全に貢献していきたくてと臨む土屋さん。運用管制課を支える心強いパートナーでもある。

安心安全な整備保守業務の遂行

来島マーチスの司令塔でもある運用管制課、それをサポートする情報課には多くの機器が存在する。これらの機器の日常保守、定期点検、トラブルの対処等が整備課の主な役割である。

予備の機器があるものについては、月に1回は現用機器を予備機器に切替え、入念なメンテナンスを行う。常に正常な状態を維持するための定期的なメンテナンスが重要なのだ。

「機器が多いため、障害が起こった際の原因を突き止めるのが一番苦労しますね。」整備課技術官の坂田洋平さんは語る。

操作している端末、データを変換している装置、回線を構成している機器、表示している画面等、様々な機器が相互に接続されているため、まずは障害の原因がどこにあるかを素早く突き止める。時

には、製造業者と密に連絡をとりながら業務に影響がないように対処する。わずかな障害が大きな事故につながるからでないからだ。

この日は特別に、海拔110mの高さにある来島マーチスの屋上に備え付けられたレーダーアンテナ部を見学した。屋上へたどり着くまでの階段の長さは、体験してみなければわからないほど長くても急なものであった。

このレーダーアンテナは、1年に1回は停止させ、保守点検を実施している。その際はレーダーを使用する事が出来ないため、来島マーチスに代わり、巡視艇『せとぎり』をはじめとした航路しよう戒船が海上において管制業務をサポートし、船舶交通に支障がないように連携している。



レーダー装置を入念にチェックする坂田技術官

船長として乗組員を壊さないことを常に考えています



巡視艇『せとぎり』

船長

市場 俊行 (29)

船長として、乗組員を壊さない、次に船を壊さないということを考えています。

船は直せますが、人は直すことができません。自分の判断が大きく影響しますから、「無理をしない」を心がけて業務に取り組んでいます。

また、航路しよう戒業務は目に見えた成果があるわけではなく、何も起きないこと、つまりゼロであることが一番です。

この中で、乗組員のモチベーションをいかに高めるかが、私の仕事だと思っています。

少しでもプラスになることがあったら、積極的に取り組むようにし、チャレンジ精神を忘れないようにしたいです。

本船の運航自体も非常に気を使う航海の難所である来島海峡において、海上安全に取り組む厳しさは、人命を預かる立場として感慨深いものがあります。



来島海峡を駆け巡る 若き精鋭たち

1日500隻もの船舶が行き交う来島海峡での航路しよう戒のほか、救難業務、警備業務等あらゆる業務をこなしている、巡視艇『せとぎり』の若き船長に話を聞いた。

巨大船の先導を行う『せとぎり』

長さ200m以上の巨大船や長大物件曳航船等は、来島海峡航路を通航する際は、海上交通安全法に定められた事前の通報が必要となる。その際には、来島マーチスからの指示により、航路しよう戒船が進路警戒を行うこととなる。

取材日、航路しよう戒中の『せとぎり』が、巨大船の進路警戒を行うため同行した。今治港を出港し、来島海峡航路へ向かう。潮の流れに乗っている順潮時なので中水道を航行し、巨大船が航路に入る前に、『せとぎり』が進路警戒の配置につき、市場船長をはじめとした乗組員に緊張が走る。

200mを越える巨大船が2km先から現れた。巨大船はゆっくりりと航路を進む。『せとぎり』は巨大船が航路を抜けるまでの間、安全確認を行う。

取材時は漁船も少なく、巨大船はスムーズに通航することができたが、例外も多々あるという。例えば、潮の流れが変わる転流時は、一時的に潮の流れが止まるため、このタイミングは、漁船にとっても出漁の好機となり、アコウをはじめとした鯛釣りの好漁場になるのだ。このような時、漁船の操業と巨大船の航行を確保するための指導を行う。また、転流時には航行する水道の入れ替えが発生するため、船舶の衝突等にも注意しなければならない。

また、夜間における航行や、霧による視界不良、初めて通航する船舶が迷走し

た場合の航法指導など、潮流が入り組んでいる海域での警戒は来島マーチスとの連携が不可欠であり、『せとぎり』の航路しよう戒は重要だと再認識した。



巨大船が安全に通航することを確認する

愛される海上保安官を目指し、粘り強い安全指導を



巡視艇『せとぎり』
主任航海士
松浦 博行 (39)

瀬戸内海の大動脈である来島海峡は、業務中のレーダーによる監視にも緊張が走ります。夏場にかけての霧が発生しやすい時期では、5m先の船の舳先が見えなくなるので、若手職員と一緒に連携をとりながら、業務に取り組んでいます。

また、小型船や漁船に対して注意喚起を促す際、必ず若手職員と同行します。わかりやすい言葉と、優しい言葉と、どんなに細かい事でも口に出し、粘り強い指導を心がけています。

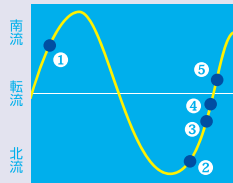
来島海峡の潮流信号

来島海峡では、順中逆西という特殊な航法に対応するため、船舶が航行すべき水道(中水道もしくは西水道)の潮流情報が必要。信号所の電光表示板に表示される。信号は中水道、西水道、どちらから航行しても確認することができる。

また、潮の流れが変わる転流期(転流20分前から転流20分後までの間)にあつては、全ての潮流信号所において「中水道」の潮流情報が表示される。潮流信号は、来島海峡航路の海上交通の安全を担う重要な情報源となっている。

潮流信号電光表示パターン例

潮流信号所において潮流情報は、2秒毎に点灯・消灯する文字等の組み合わせにより電光表示されます。例えば、右図のような潮流の場合、潮流信号所では次のように表示されます。



- | 点灯 | 消灯 | 点灯 | 消灯 | 点灯 | 説明 |
|-----|----|----|----|----|---------------------|
| ① S | → | E | → | ↑ | 南流、3ノット、さらに流速が速くなる |
| ② N | → | E | → | ↓ | 北流、5ノット、さらに流速が遅くなる |
| ③ N | → | 1 | → | ↑ | 北流、1ノット、転流まで1時間以内 |
| ④ N | → | X | → | ↑ | 北流、転流期、20分以内に南流に変わる |
| ⑤ S | → | X | → | ↑ | 南流、転流期、さらに流速が速くなる |

失敗を恐れず積極的に行動することを心がけたい



巡視艇『せとぎり』
航海士補
渡邊 柁 (19)

海上保安学校を卒業し、この4月から『せとぎり』に乗船しています。

不安でいっぱいでしたが、優しい先輩に恵まれ、日々指導を受けながら勉強しています。子供の頃、家族で呉を訪問し、海上保安庁に憧れを抱きました。初めて制服に袖を通した時の感激は、今でも忘れられません。

そのような中、最初の赴任場所が来島海峡になるとは思っていませんでした。ただ、あらゆる業務を兼任しなければならない場所だからこそ、この4ヶ月で多くの経験をする事が出来ました。

同世代の人たちに、海上保安庁のこともっと知ってもらえるよう、自分自身が成長していきたいと思っています。



来島マーチスから提供される潮流信号

大変な時こそ笑顔を忘れないようしています



巡視艇『せとぎり』
機関士補
吉岡 優(31)

女性初の『せとぎり』乗組員として、エンジン整備の仕事をしています。前職の会社員での経験を活かし、乗組員とのコミュニケーションを円滑にすることを心がけています。4月から英語渉外官の指名を受け、管区内でもあらゆる部署に呼ばれるようになりました。外国船の海難が起きた際、外国人乗組員との通訳をスムーズに行う事で問題解決を行う等、多くの経験をさせていただいております。

海事都市今治を支える 今治海上保安部

昨年4月、創設50周年を迎えた今治海上保安部。海事都市構想の今治市に位置し、瀬戸内海に面した海岸に築いた今治城がすぐ側にある。

愛媛県は中予、南予、東予の地方に分割され、東予地方(とうよちほう)と呼ばれるエリアを管轄するのが今治海上保安部だ。来島海峡という瀬戸内海の難所を管轄するなか、海難救助、法令違反取締りに積極的に取り組んでいる。

今治海上保安部に所属している巡視艇『いまかせ』においては、犯罪の検挙件数は管区内でも常に上位を維持している。

来島海峡の交通安全を 地域と連携して守る

来島海峡の潮の流れは早い時で10ノットあるため、強潮流時に順中逆西の航法をとらず、順潮時に西水道を通過すると船が流されるという。明治時代、潮流の強さにより乗り揚げ等の海難が頻繁に発生していた。

順中逆西の航法が取り入れられてからは海難が減少してきたが、社会的反響の大きな海難が度々発生してきた。

平成10年に来島マーチスが開設してからは、今治海上保安部で行っていた管制業務が移行され、情報提供も豊富に



伝統ある今治海上保安部について語る、
田村次長(右)、小森管理課長(左)

行われるようになった。

また、今治海上保安部では、平成14年から続いている地元FMラジオ局『バリバリ』の「今治海上保安部からの来島海峡潮流情報」という番組の中で、週5日間、毎日朝8時30分から10分弱の番組を放送しており、1週間ごとに担当職員が、各自テーマを決めて放送原稿を作成している。



地元FMラジオ局で毎日放送されるコメントが冊子になったFMラジオバリバリ一口コメント集

このほか、ケーブルテレビとも協定を結んでおり、災害情報や緊急情報のほか、『海難防止強調運動』などの、情報を流してもらう体制ができています。

さらには、海上保安官による水難防止安全教室も実施され、直接中学校へ出向き、着衣泳の体験や海中転落時の対処法などを伝えている。

世界でも類を見ない海事産業(海運業・造船業・船用工業)が集積する『海事

都市』今治市。恵まれた地域資源を最大限にまちづくりに活かすために「新時代に向けた海事都市今治の創造」を将来像に掲げている。その玄関口となる来島海峡の海上交通安全は、とても重要な役割となるのだ。

来島マーチス、巡視艇『せとぎり』をはじめとする航路しよう戒船、今治海上保安部との連携が、来島海峡の海上交通安全より安心・安全な方向へと導き、「海事都市今治の創造」の一躍を担うであろう。

環境に対してのレベルアップを図りたい



今治海上保安部
警備救難課 警備係
岡井 俊樹(30)

警備業務、刑事事件のバックアップ業務、物品管理や検察庁とのやり取りを行う中、環境保全の担当としてもやりがいを持っています。地元の幼稚園へ出向いて環境教室を行い、環境に対する保全思想を普及させることに携わっております。紙芝居等を使って教室を行います。なるべくわかりやすく、子供たちにも伝わりやすいように工夫をしています。環境は奥が深いので、さらなるレベルアップが必要だと痛感しています。海に慣れ親しんだ今治市民ではありませんが、海上での環境保全の意識に乏しく、ゴミの問題にも悩まされます。海水浴場の整備も整っていないところがあるので、マリッジの事故に注意を払い、ライフジャケットの着用呼び掛け等、私が出来る事をやり続けて行きたいと思っております。海事都市として益々注目されるエリアですので、環境に対してのレベルアップを図り続けて行きたいです。

「うみまる」

管区バージョン
ご当地バージョン



「うーみん」の紹介



©JCGA

海上保安庁のイメージキャラクターである「うみまる」・「うーみん」は管区やご当地オリジナルのバージョンがあり、地域の皆様により一層親しんでいただけるように各地で活躍しています。今号では第五管区の「うみまる」・「うーみん」を紹介します。

第五管区 海上保安本部

第五管区
海上保安本部

阿波踊りを踊っている
「うみまる・うーみん」

姫路
海上保安部

姫路城と
灘のけんか祭と
「うみまる」



兵庫県

第五管区海上保安本部

滋賀県



高知
海上保安部

坂本龍馬に扮した
「うみまる」

徳島
海上保安部

阿波踊りを踊る
「うみまる」



田辺
海上保安部

弁慶に扮した
「うみまる」

岸和田
海上保安署

だんじり祭と
「うみまる・うーみん」



海上保安庁音楽隊第20回定期演奏会のお知らせ

平成25年11月9日(土)午後2時からゆうぼうとホールにおいて開催します。
申し込み制ですので、以下の応募方法にしたがって、ご応募ください(多数の場合、抽選となります。)
皆様のご来場を心よりお待ちしております。

海上保安庁音楽隊 第20回定期演奏会

Japan Coast Guard Band



日 時:平成25年 **11**月**9**日(土)
午後1時開場 午後2時開演

場 所:ゆうぼうとホール(五反田)
東京都品川区西五反田8-4-13

■交通案内

- JR、都営地下鉄浅草線、東急池上線
「五反田」駅下車西口から徒歩約5分
 - 東急池上線「大崎広小路」駅下車徒歩約1分
- ※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

指揮

稲垣 征夫 (海上保安庁音楽隊技術顧問)

演奏予定曲

- 行進曲「ナショナル・ゲーム」
- イギリスの海の歌による幻想曲
- ライオンキング サウンドトラック・ハイライト (ほか)

■申し込み方法

はがきかインターネットのいずれかで
お申し込みください。

●はがき応募

メ切:10月18日(金)(必着)

郵便はがき裏面に代表者の郵便番号、住所、氏名、年齢及び
同伴者(1名のみ)の氏名、年齢、応募のきっかけを記入のうえ、
右の要領でお申し込みください。

●インターネット応募

メ切:10月18日(金)午後6時

海上保安庁ホームページからご応募ください。
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/teien/>



応募は、お一人様1通のみとさせていただきます。複数応募は
ご遠慮ください。
応募者多数の場合は、抽選にて当選者を決定いたします。当選者の
発表は入場整理券(全席指定)の発送をもって発表に代えさせて
いただきます。
未就学児童のご来場・着席は、他のおお客様のご迷惑となる場合が
ありますので、お断りいたします。

応募はがき記入方法

(おもて)

(う ら)

郵便はがき

10008976

定期演奏会
係

千代田区霞が関2の1の3
海上保安庁 政策評価広報室



※往復はがきではありませんので、ご注意ください。

※個人情報の取扱いについて

応募の際にご記入いただいた個人情報は、
本演奏会の公募事務および
入場整理券の発送のみに使用いたします。

※必ずご記入ください。

- ・郵便番号
 - ・住所
 - ・氏名(代表者)
 - ・年齢
 - ・応募のきっかけ
(例:海保HP、雑誌「○○」等)
- ※同伴者を希望する場合
のみにご記入ください。
- ・氏名(同伴者1名)
 - ・年齢



(公財)日本海事センター補助事業 / 後援(公財)海上保安協会

■ 問い合わせ先 / 海上保安庁政策評価広報室 03-3591-9780 (平日午前9時30分から午後6時まで)

FLASH



(C) ALBIREX NIIGATA

Jリーグの試合会場で海上保安庁PR

(7月13日 第九管区海上保安本部)【アルビレックス新潟提供】



地元中学生が巡視艇「いせぎく」で職場体験

(6月5日～7日 四日市海上保安部)



ペットボトルを使った着衣泳講習会

(7月8日 新潟海上保安部)



幼稚園児から海の安全を願う七夕飾りのプレゼント

(7月2日 舞鶴海上保安部)



海の安全運動 in 日本科学未来館

(7月15日 東京海上保安部)



巡視船「あらせ」で 地元小中学生が職場体験

(5月29日 宿毛海上保安部)



銚子海上保安部60周年記念 フェスタ (7月13日 銚子海上保安部)



「海の日」に巡視艇体験航海

(7月15日 今治海上保安部)



幼稚園児たちとの海浜清掃 (6月5日 釧路航空基地)



NEWS



地元消防と合同海難救助訓練 (7月5日 中城海上保安部)



青森港埠頭・水域保安及びテロ対策訓練
(6月19日 青森海上保安部)



救命救急講習会開催
(6月9日 鹿児島航空基地)



海上保安大学校で遠泳訓練
(7月24日 海上保安大学校)



海上保安学校で遠泳訓練
(7月16日~17日 海上保安学校)



海上保安学校門司分校で入校式 (7月9日 海上保安学校門司分校)



海上保安庁からも参加!
国際緊急援助隊隊員による技術訓練
(7月9日~13日 海上保安庁警備救難部)



釜石湾で震災犠牲者追悼
巡視船「きたかみ」から洋上献花
(8月11日 釜石海上保安部)



巡視船「むろみ」新たな配属地である呉へ
(8月8日 福岡海上保安部)



地元音楽祭にあわせて犬吠埼灯台の一般公開
(7月14日 銚子海上保安部)

INFORMATION

～海上保安庁からのお願い～

大切な命!自分で守る!

～自己救命策
3つの基本～

- ① ライフジャケットの着用!
- ② 連絡手段の確保!
- ③ 海のもしもは**118番!**



愛します! 守ります! 日本の海

海上保安庁